

教科または領域	図画工作	
対象学年	小学校2年生	
授業場所	コンピュータ教室・教室	
単元	ゆめのきょうりゅうとあそぼう	
単元の目標	夢の恐竜を想像し、その恐竜たちと一緒に遊んでいる自分のすがたを絵にあらわす。	
単元の指導計画	<p>第一次 夢の恐竜を考える ・こんな恐竜がいたらいいなあ、という恐竜を考える</p> <p>第二次 恐竜の色をジャストスマイルのペイントを使って作る（本時） ・夢の恐竜の色を、ペイントソフトの機能を使って作る</p> <p>第三次 印刷したものを恐竜のかたちに切り取る ・考えてあった恐竜の形に切り取る</p> <p>第四次 画用紙に背景をかく ・恐竜と遊んでいる自分や背景をかく</p> <p>第五次 恐竜をはりつける ・さいごに恐竜をはりつけて完成させる</p>	
本時のねらい	ペイントソフトの機能を使って、絵の具ではつくれない不思議な色や模様を作る	
指導計画	導入	<p>1. ペイントソフトを使った提示例をみて、興味をもつ。</p> <p>・レインボーカラーや色のゆがみ、モノクロなどの機能を紹介して、自分の想像する恐竜にあった色や模様作りを考える。</p>
	展開	<p>1. ペイントソフトの使い方を説明をきく</p> <p>・えんぴつ・ふで・ペンキの使い方</p> <p>・色の変え方</p> <p>・レインボーカラー・モノクロ・ゆがみなどの効果の仕方</p> <p>2. 自分で考えた恐竜にあうように色や模様を作る</p>
	まとめ	1. 印刷する
その他：	<p>2年生は、絵の具を使い始めたばかりで、まだまだ自分の思うような色を作ることが出来ない。図画工作が苦手な子の中には、自分で想像していることと、実際に自分で作ったものとの間にあるギャップをいやがる子も多い。そこで、今回のようにパソコンのペイントソフトというツールを使うことで、自分の思い描いた色を作ることが容易になり、想像の幅が広がったように思われる。また、普段とは違うツールを使うことで意欲的になり、いつもよりも積極的に図画工作の授業にのぞんでいる子が多く見られた。</p>	